

式辞

桜の満開が長く続いたあたたかな春が訪れました。今日のよき日に、石川県立金沢錦丘中学校の第20回入学式が本校PTA会長様をはじめ、PTA役員の皆様の御臨席を賜り、また、保護者の皆様の御列席のもと、盛大に挙行できますことを、大変喜んでおります。

120名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

自らの考えで金沢錦丘中学校を選んだ皆さんは、入学できた喜びで将来への大きな夢をふくらませ、本校での中学校生活に期待を抱いていることと思います。皆さんの入学を心より歓迎します。また、保護者の皆様にも、めでたく入学されたお子様の晴れの姿をご覧になり、嬉しさもひとしおのこととお察しし、心からお祝いを申し上げます。

皆さんがこれから学ぶ錦丘は、6年間に渡り、継続的、計画的に指導を行い、生徒一人一人の能力を思う存分伸ばすために開設された併設型中高一貫教育校であります。本校では「社会が求める人間力の育成」を掲げ、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の育成に努め、六年後の叶えたい夢の実現とともに、将来、地元石川県はもちろん、国内、国際社会にて活躍できる人の育成を目指しています。

そのため、錦丘の6年間を2年、2年、2年という3つのステージに分けて学びます。皆さんが入学して始まる二年間は、六年の学びそして生涯にわたり役立つ、読み・書き・計算のような基礎、そして各教科の法則や公式などの基本を身につける「基礎充実期」です。そして、身につけた基礎を生かして3・4年目の「探究期」、5・6年目の「発展期」につながります。まず、知徳体のバランスよく自分を成長させてください。

さて、そんな皆さんに、本校での学校生活を有意義に送るために二つのお願いがあります。一つ目は「興味あることを持ち続け、慌てずに着実に学んで欲しい」ということです。この春から放送されているNHKの連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルである牧野富太郎博士は、幼い頃から植物に興味を持ち、家の裏の山に登っては植物を採集したり観察したりしていたようです。牧野富太郎は、植物好きが理由で小学校での学びをやめてしまったようです。しかし、22歳の時に東京帝国大学の研究室に出入りすることを許され、東京帝国大学で教え、理学博士になったそうです。富太郎の一生を貫く植物好きが富太郎の人生をつくったのでしょうか。皆さんの6年間の学びも、成績が伸び悩んだりすることがあるかもしれませんが、でもそんな時は、好きなことを持ち続け、自分の将来の夢やなりたい自分を思い浮かべ、着実に進んでください。

二つ目は「気づき、考え、行動する」ということです。皆さんは、県内外から集いました。初めて出会った仲間が多いと思います。したがって、中学校生活への楽しみとともに不安や心配事があるかもしれません。皆さんは、お互いにそんな友達に気づき、どうしてあげたらいいか考え、行動を起こしてあげてほしいと思います。そして、このような「気づき。考え、行動する」態度は、中学校生活に慣れた今後の生活の中でも持ち続け、仲良く助け合って過ごしてください。

結びに、御多忙の中、御臨席をいただきました御来賓の皆様、また、保護者の皆様、私たち教職員一同は中高一貫教育校としての責務を果たすために、生徒一人一人が「最高の自分を見つける」教育に努め、信頼される学校を創り上げていく決意をしております。どうか、保護者の皆様方には、生徒の健やかな成長のため、緊密な連携と御協力をいただきますことをお願いいたします。

新入生の皆さんが、金沢錦丘中学校の生徒としての誇りと自覚をもち、しっかりと前に踏み出すことを願ひ式辞といたします。

令和5年4月7日

石川県立金沢錦丘中学校長 嶋 耕二